

# 近江長岡駅バリアフリー計画 米原駅東口プロジェクト計画破綻



## 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党米原市議員  
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

### 東口プロジェクトの経過

・平成13年4月 土地区画  
整理事業の開始

・平成19年3月 まちづく  
りビジョン策定

・平成20年7月～24年5月

まちづくりプロポーザル不  
成立

・平成27年12月 まちづく  
りプロジェクト構想発表

・平成29年3月 まちづく  
り提言（みずほコンソーシ  
アム）

・平成30年3月 一般社団  
法人米原駅東口まちづくり  
協議会（以下社団）設立

・平成31年3月 まちづく  
りプロジェクト基本計画発  
表（社団）

・令和元年9月 プロジェ  
クト基本設計（社団）

・令和3年11月 みずほ銀  
行と「東口を拠点としたD  
X実現に関する連携協定」  
締結

・令和4年3月 県有地と  
の土地交換完了

「一般社団法人・米原駅  
東口まちづくり協議会」  
（以下社団）は官と民が協  
力した法人で米原駅東口開  
発の主体として位置づけら  
れています。しかし社団か  
ら提出された基本計画に対  
して市や市議会において本  
当に事業実施が可能な計画

### まちづくり協議会とは

「一般社団法人・米原駅  
東口まちづくり協議会」  
（以下社団）は官と民が協  
力した法人で米原駅東口開  
発の主体として位置づけら  
れています。しかし社団か  
ら提出された基本計画に対  
して市や市議会において本  
当に事業実施が可能な計画

場所は米原駅東口、県有  
地（1万3千㎡）と市有地  
（9千㎡）と米原駅西、中  
多良地先（3万㎡）の計5  
万2千㎡です。この東口予  
定地の西側（8千㎡）には  
県東北部工業技術センター

「提案された候補地  
多良地先（3万㎡）の計5  
万2千㎡です。この東口予  
定地の西側（8千㎡）には  
県東北部工業技術センター

7月7日開催された米原駅東口駅前開発特別委員会が東口まちづくり事業について新たな提案がなされました。それはまちづくりの主体としてきた「一般社団法人米原駅東口まちづくり協議会」の事務局を担っていた市が脱退し、東口の県有地と市有地と駅西の中多良地先に「県立高等専門学校」誘致に名乗りを上げるとするものです。現在、県下の多くの市が名乗りを上げている中で今回の立候補の可否や米原駅東口開発事業の経過の問題点を確認し、しっかりと議論する必要があります。

なにか疑問がだされ、期限の建設が決定されています。を切って実現可能な計画書を提出するよう要請されましたが、提出されませんでした。

### 市が県高専候補地を提案

このような状況で、市長から東口の県有地と市有地および駅西民有地を高等専門学校候補地として立候補することが提案され、社団の総会において了承されたとのことです。その過程で、市は社団から退会しました。

### 提案された県立高専

「高等専門学校」とは、5年制の工業系の学校で、高校と短大を複合した学校というイメージです。多くの県には国立高等専門学校がありませんが、滋賀県にはありませんでした。

今回の県立高専は、情報技術を中心に専門的な分野の人材育成を図るとしており、令和9年度の開校を目指すとしています。

### 提案された候補地

場所は米原駅東口、県有地（1万3千㎡）と市有地（9千㎡）と米原駅西、中多良地先（3万㎡）の計5万2千㎡です。この東口予定地の西側（8千㎡）には県東北部工業技術センター

### 近江長岡駅エレベーター設置

7月20日の委員会協議会で近江長岡駅エレベーター設置についての概要の説明がありました。

上り線、下り線各1基のエレベーターを新設しバリアフリー化を図るとしています。駅舎からホームに下りる段差はスロープ化するとしています。

概算費用としては8億5千万円で3分の1の2億8千万円はJR東海、県補助が1億円、残りの4億6千万円が市の負担と想定されていることが説明され、今後国庫補助についても要望活動を行っていくとのことでした。また維持管理経費も年140万円程度と見込まれています。

### 令和9年度完成へ

今回の設置は、エレベーターもスロープも市の財産となるものです。1日の乗降客が3千人以下の駅である条件の中でJRの協力が可能となったことが説明されました。今後は令和9年度完成を目指すとしています。



### 雑感

月に1度、委員会協議会があります。これは今の米原市の課題について執行部と自由に議論をする場です。議会開催月はありませんので年間8回となります。今月の総務産業建設常任委員会では「脱炭素先行地域計画」「路線バス見直し」「国土利用計画」「近江長岡駅バリアフリー化」「安定ヨウ素剤配備・配布計画」の5件でした。議論の幅が広がって一つひとつが重要な課題です。執行部に対して適切に質問することや意見をいうには相当なエネルギーと基礎知識が必要です。考えていても、うまく表現できないこともあります。伝える力は難しい。